

JA松任青年部

YOUTH SITE



「未来への挑戦」

JA松任青年部 委員長 天井 徹

現在、新型コロナウイルス感染症は、変異し続けオミクロン株として急速に蔓延しています。我々JA松任青年部にとって活動自粛の可能性がある状況下であります。が、「農と人」「人と人」をつなぎ、豊かな未来を創造し、地域社会への貢献を忘れてはいけません。



私は、JA松任青年部の強みと言えば、農であり、さらに地域とのつながり、各支部・地区のつながり、盟友間のつながり、そして盟友個々の地域愛や若さといったパワーだと考えます。戦後の物が無い何もない時代に比べれば、現在テクノロジーの発展により、私たちの過ごしている社会環境は物が溢れ豊かです。しかしその反面、様々な地域社会の課題も山積しています。この地域社会課題の一端を改善すべく、我々ができる強みを生かした新たな挑戦をして参ります。

【第51回通常総会開催】

（新委員長に天井 徹さん（中央支部））

2月6日（日）に松南倉庫会議室で予定しておりましたJA松任青年部第51回通常総会は、新型コロナウイルス感染症の状況悪化により中止となりました。

そこで、総会を书面決議で行い、役員会を開催し、令和4年度の活動基本方針として「Challenge of the future」未来への挑戦」をテーマに、農業への理解と推進を重点事項として活動を行うことを決定しました。

また令和3年度活動報告、収支決算、新年度役員改選などが議件として上げられ、全議案が承認されました。

なお、令和4年度の新役員は次の方々です。（敬称略）

委員長	天井 徹（中央支部）
副委員長	上田 俊輔（出城地区）
〃	西本 豊（旭地区）
〃	統括・企画部担当 宮川 正（笠間地区）
〃	農業理解促進部担当 吉本 典生（山島地区）
〃	地域交流部会担当 北 浩司（中央支部）
企画部長	中田 慎一（柏野地区）
農業理解促進部長	小倉 武篤（山島地区）
地域交流部長	藤原 陽平（石川地区）

「アツ!!」という間に売り切れ続出!!

幻の林中青年部剣崎なんば味噌!!

松南支部林中青年部

ユースサイトでは毎度おなじみの剣崎なんば味噌!今回は販売
販路についてご紹介させて頂きます。

定期購入していただいている方もいらつしやいますが、なんと
いっても辛さが売りの剣崎なんば味噌は、主にJAグリーン松任
まいどさん市場と道の駅めぐみ白山のブースに並べています。

ですが、製造量が追いつかなくて品切れになっていることもし
ばしば:まさに幻の味噌となりますが、まだまだ根気よく製造し
ています!

両店舗ともに林中青年部一同で力を合わせて作った味噌を並べ
てきたので、お買い求めは無くなる前に、ぜひどうぞ!!



知りタイガーのJA虎の巻

知りタイガーのJA虎の巻



第29回
JA全国大会決議
JAグループの実践

【今回のテーマ】

JA全中の中家会長は、今年を「大会決議の実践元年」と言っているけど、4月からどんな取り組みが始まるの?

JAグループが
10年後にめざす姿

- 一 持続可能な農業の実現
- 二 豊かでくらしやすい地域共生社会の実現
- 三 協同組合としての役割発揮

中長期(10年後)を見通して重点的に
取り組む5つの柱

持続可能な2つの基盤確立とそれを支える土台

- 1 持続可能な食料・農業基盤の確立
- 2 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

3 不断の自己改革の実践を支える
経営基盤の強化

横断的な取り組み

- 4 協同組合としての役割発揮を支える人づくり
- 5 「食」「農」「地域」「JA」にかかる国民理解の醸成

JA全国大会決議は、JAグループ各組織が同じ方向に向かって取り組むための「羅針盤」です。JAグループは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、それぞれの事業、地域の実態をふまえて組合員の期待にこたえ、地域にとってなくてはならない存在であり続けます。

これまで一定の評価や成果をあげてきた自己改革について、人口減少、高齢化、担い手不足などに加え、コロナ禍やデジタル化の急速な進展等のさらなる環境変化をふまえ、進化させます。

次の10年に向けて挑戦する「JAグループのめざす姿」の実現に向け、5つの柱に基づいた創意工夫ある実践を全国各地で始めます!

